

第12回 市原湖畔美術館子ども絵画展

きみにとって

うつくしいってなに？

かなあ？

ゲストアーティスト
荒井良二

2025年
2/1 ⇒ 3/2
(土) (日)

市原湖畔美術館
千葉県市原市不入 75-1



開館時間：平日 10:00 ⇒ 17:00、
土曜・祝前日 9:30 ⇒ 19:00、
日曜・祝日 9:30 ⇒ 18:00

*最終入館は閉館時間 30 分前まで

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

料金：一般：500 (400) 円 / 大高生・65 歳以上：400 (300) 円 / 中学生以下無料

* () 内は 20 名以上の団体料金。*障害者手帳をお持ちの方（または障害者手帳アプリ「ミライID」提示）とその介助者（1名）は無料

主催：市原市、市原湖畔美術館【指定管理者：(株)アートフロントギャラリー】
協賛：株式会社中川ケミカル 後援：市原市教育委員会、市原市小学校長会、市原市私立幼稚園協会、
市原ぞうの国、株式会社バンブーフォレスト、小湊鐵道株式会社、
シティライフ株式会社、高滝湖観光企業組合、千葉日报社、
南いちほら応援団新聞 伝心柱

きみにとって うつくしいって なにかなあ？

子どもたちと荒井良二が紡ぐ

「うつくしい」の物語

第12回となる「市原湖畔美術館子ども絵画展」。ゲストアーティストに絵本作家・荒井良二さんを迎え、「うつくしいってなに？」をテーマに、市原市内の子どもたちから募集した作品を展示いたします。

「うつくしい」ってなんでしょう？ それは、「きれい」ということ？ 「かわいい」ということ？ きみが見た景色？ まだ見たことがない景色？ 知っている人？ 大切にしているモノ？ 経験したコト？

——本展は、約300点の子どもたちの作品と荒井良二が紡ぐ、「うつくしい」の物語です。また、荒井さんと詩人・最果タヒさんとの共著『うつくしいってなに？』（2024年7月刊行／小学館）の原画全点も特別公開いたします。みなさまのご来場をお待ちしております。

荒井良二（あらい・りょうじ）

1956年山形県生まれ。「たいようオルガン」でJBBY賞を、「あさになったのでまどをあけますよ」で産経児童出版文化賞・大賞を、「きょうはそらにまるいつき」で日本絵本大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッドグレーン記念文化賞を受賞するなど国内外で高い評価を得ています。2018年まで「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」の芸術監督をつとめ、現在は「newborn 荒井良二 いつもしらないところへたびするきぶんだった」展を全国の美術館で巡回中です。

会期中の ワーク ショップ

「うつくしいってなに？」荒井良二さんと一緒に、絵と言葉で「うつくしい」を考えてみます。

できあがった作品は、会期中美術館に展示されます。

日時：2月1日（土）13:00-15:00 対象：～小学6年生までの子どもたち

定員：30名（事前要申込み）会場：市原湖畔美術館 多目的ホール

参加費：一人1,000円 申込み：2025年1月11日（土）10:00開始

美術館HPのイベント情報にある受付フォームにてお申込みください。定員に達し次第申込みを締め切ります。詳細は美術館HPをご確認ください。

鉄道	JR内房線五井駅（小湊鉄道乗換え約40分）⇒小湊鉄道高滝駅（徒歩20分 タクシー5分）	市原湖畔美術館
車	東京湾アクアライン（川崎浮島JCT約40分）⇒圏央道（茂原方面）「市原鶴舞IC」（出口左折約5分）⇒館山道「市原IC」（国道297号線約35分）	市原湖畔美術館
バス	東京駅バスターミナル東京八重洲（東京-勝浦線11番のりば）約60分⇒市原鶴舞バスターミナル 横浜駅横浜駅東口ターミナル約80分 羽田空港羽田空港第1第2ターミナル-茂原線約50分	市原湖畔美術館 タクシー約5分（約3km）

